

配信資料に関する仕様 No. 30901

～潮位情報～

1. 概要

潮位の変動による被害が発生するおそれのある場合や、潮位の状態について一般及び関係機関に対して解説等を行うことが有効であると認められる場合、各地方気象台等では潮位に関する情報（以下「潮位情報」という。）を随時発表しています。

2. 潮位情報の種類

- ・「全般潮位情報」：本邦の周辺海域を対象に気象庁本庁が発表する潮位情報
- ・「地方潮位情報」：気象庁本庁、管区気象台（東京を除く）及び沖縄気象台の担当区域を対象に気象庁本庁、管区気象台（東京を除く）及び沖縄気象台が発表する潮位情報
- ・「府県潮位情報」：府県予報区担当官署等の担当区域を対象に府県予報区担当官署等が発表する潮位情報

3. 潮位情報の発表官署及び対象区域

全般	地方	府県	対象区域
気象庁 本庁	札幌管区 気象台	稚内地方気象台	宗谷地方
		旭川地方気象台	留萌地方
		網走地方気象台	網走・紋別地方
		釧路地方気象台	釧路・根室地方
		帯広測候所	十勝地方
		室蘭地方気象台	胆振・日高地方
		札幌管区気象台	石狩・後志地方
		函館地方気象台	渡島・檜山地方
	仙台管区 気象台	青森地方気象台	青森県
		盛岡地方気象台	岩手県
		仙台管区気象台	宮城県
		福島地方気象台	福島県
		秋田地方気象台	秋田県
		山形地方気象台	山形県
	気象庁 本庁	水戸地方気象台	茨城県
		銚子地方気象台	千葉県
		気象庁本庁	東京都
		横浜地方気象台	神奈川県

		静岡地方気象台	静岡県	
		名古屋地方気象台	愛知県	
		津地方気象台	三重県	
		新潟地方気象台	新潟県	
		富山地方気象台	富山県	
		金沢地方気象台	石川県	
		福井地方気象台	福井県	
	大阪管区 気象台	京都地方気象台	京都府	
		神戸地方気象台	兵庫県	
		大阪管区気象台	大阪府	
		和歌山地方気象台	和歌山県	
		岡山地方気象台	岡山県	
		広島地方気象台	広島県	
		鳥取地方気象台	鳥取県	
		松江地方気象台	島根県	
		高松地方気象台	香川県	
		徳島地方気象台	徳島県	
		松山地方気象台	愛媛県	
		高知地方気象台	高知県	
		福岡管区 気象台	下関地方気象台	山口県
			福岡管区気象台	福岡県
			佐賀地方気象台	佐賀県
	熊本地方気象台		熊本県	
	大分地方気象台		大分県	
	長崎地方気象台		長崎県	
	宮崎地方気象台		宮崎県	
	鹿児島地方気象台		鹿児島県（奄美地方除く）	
	名瀬測候所		奄美地方（鹿児島県）	
	沖縄 気象台	沖縄気象台	沖縄本島地方	
		南大東島地方気象台	大東島地方	
		宮古島地方気象台	宮古島地方	
		石垣島地方気象台	八重山地方	

全般：全般潮位情報発表官署

地方：地方潮位情報発表官署

府県：府県潮位情報発表官署

発表官署の英字官署名（CCCC）は別紙1に示します。

4. 潮位情報の形式及び内容

形式：標題、発表年月日時分、発表官署名、見出し、本文からなる。

内容：見出しは、実況、見通し及び防災上の留意事項などを簡潔に述べる。

本文は、おおむね 発生日時、発生地域、代表的な地点の潮位偏差又は振幅等の観測値、発生原因、今後の見通し、各地の満潮時刻とその潮位、防災上の留意事項などを述べる。

情報の例を別紙2に示します。

5. 仕様

(1) データ一覧

データ形式	データ種類コード：情報名
XML	VMCJ50：全般潮位情報 VMCJ51：地方潮位情報 VMCJ52：府県潮位情報
PDF	図形式の潮位情報 ※当面の間は府県潮位情報のみの運用です。

(2) 「図形式の潮位情報」の仕様

- ・ファイル形式：PDFファイル
- ・ファイル容量：約100KB（情報により異なる）
- ・ファイル名

Z__J_CCCC_yyyyMMddhhmmss_TID_INF_Jfchoui_NJ####@@@_image.pdf

（ yyyyMMddhhmmss：発表日時(UTC)）

CCCC：英字発表官署名 別紙1を参照

NJ####：情報番号（〇〇に関する潮位情報第2号ならばNJ002等）

@@@：通常・訂正フラグ

（通常はn00とし、発表した情報の内容に訂正のある場合には発表日時は変更せず、本フラグをc01、さらに訂正のある場合には順にc02、…、c99として訂正報を配信します）

- ・サンプルを別紙3に示します。

6. 障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再送は行いません。あらかじめご承知おきください。

別紙1 英字発表官署名

気象官署名	英字官署名 (CCCC)	気象官署名	英字官署名 (CCCC)
札幌管区気象台	JPSP	大阪管区気象台	JPOS
稚内地方気象台	JPSA	神戸地方気象台	JPOB
網走地方気象台	JPSB	和歌山地方気象台	JPOE
旭川地方気象台	JPSC		
釧路地方気象台	JPSD	広島地方気象台	JPHR
室蘭地方気象台	JPSE	鳥取地方気象台	JPHA
函館地方気象台	JPSF	松江地方気象台	JPHB
帯広測候所	JPSJ	岡山地方気象台	JPHC
		高松地方気象台	JPMT
仙台管区気象台	JPSN	松山地方気象台	JPMA
青森地方気象台	JPDA	徳島地方気象台	JPMB
秋田地方気象台	JPDB	高知地方気象台	JPMC
盛岡地方気象台	JPDC		
山形地方気象台	JPDD	福岡管区気象台	JPFK
福島地方気象台	JPDE	下関地方気象台	JPFA
		大分地方気象台	JPFB
気象庁	JPTK	佐賀地方気象台	JPFC
水戸地方気象台	JPTD	熊本地方気象台	JPFD
銚子地方気象台	JPTE	長崎地方気象台	JPFE
横浜地方気象台	JPTF	鹿児島地方気象台	JPKG
名古屋地方気象台	JPGY	宮崎地方気象台	JPKA
静岡地方気象台	JPGA	名瀬測候所	JPKC
津地方気象台	JPGC		
新潟地方気象台	JPNI	沖縄気象台	JPOK
富山地方気象台	JPNA	南大東島地方気象台	JPWA
金沢地方気象台	JPNB	宮古島地方気象台	JPWB
福井地方気象台	JPNC	石垣島地方気象台	JPWC

別紙2（潮位情報の例）

（例1）全般潮位情報の例：大潮による高い潮位

大潮による高い潮位に関する全般潮位情報 第1号
平成××年8月17日11時00分 気象庁地球環境・海洋部発表

（見出し）

8月20日の満月の前後は大潮の時期にあたり、満潮の時間帯を中心に潮位が高くなります。北海道地方、北陸地方、西日本及び沖縄・奄美の沿岸の一部では、海岸や河口付近の低い土地での浸水や冠水のおそれがあります。

（本文）

夏から秋にかけては海水温が高いなどの影響で、平常時の潮位が年間でも高い時期となります。さらに、8月20日の満月の前後は大潮の時期にあたるため、北海道地方、北陸地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州北部地方、九州南部・奄美地方及び沖縄地方の沿岸の一部では、8月18日から8月24日にかけて、満潮の時間帯を中心に海岸や河口付近の低い土地での浸水や冠水のおそれがありますので注意してください。

なお、この期間中に台風や低気圧の通過等があった場合や、短時間に海面が昇降を繰り返す副振動の発生等があった場合は、さらに潮位が上昇する可能性があります。

今後、地元気象台等から発表される高潮警報・注意報や潮位情報に十分留意してください。

（例2）地方潮位情報の例：異常潮位

異常潮位に関する近畿・中国・四国地方潮位情報 第1号
平成××年9月14日14時00分 大阪管区気象台発表

（見出し）

近畿地方から四国地方にかけての太平洋沿岸及び瀬戸内海の沿岸では、平常に比べ潮位が40センチ程度高い状態が続いています。9月15日から9月21日にかけて満潮の時間帯を中心に海岸や河口付近の低い土地で浸水等のおそれがあります。

（本文）

9月7日頃から、近畿地方の紀伊半島沿岸、瀬戸内海沿岸及び四国地方の太平洋沿岸で30センチ程度、平常より高い潮位を観測しています。

これは、台風や低気圧により発生する高潮とは異なる「異常潮位」と呼ばれる現象です。過去には〇〇年××月から××月に当地域で発生した事例があります。このときは、黒潮が近畿地方や四国地方の沿岸に接近して流れたことが原因の一つに挙げられています。

海水温が高いなどの影響で年間でも潮位の高い季節となっています。加えて9月17日の新月の前後は大潮の時期にあたるため、9月15日から9月21日は平常時でも満潮の潮位が高くなります。このため、現在の状態が続いた場合、満潮前後の時間帯に海岸や河口付近の低い土地で浸水や冠水等のおそれがあります。

また、この期間中に台風や低気圧等の通過等があった場合や、短時間に海面が昇降を繰り返す副振動の発生等があった場合は、潮位がさらに上昇する可能性があります。

今後、地元気象台から発表される高潮警報・注意報や潮位情報に十分留意してください。

なお、9月7日から14日13時までに各地で観測された実測の潮位と平常時の潮位との差の最大値は次のとおりです（値は速報値）。

和歌山県串本+32センチ、大阪+31センチ、高松+28センチ、広島（海上保安庁）+29センチ、松山+29センチ、高知+28センチ

(例3) 府県潮位情報の例：副振動

副振動に関する鹿児島県（奄美地方を除く）潮位情報 第1号
平成××年2月24日23時35分 鹿児島地方気象台発表

(見出し)

薩摩地方の沿岸では、最大で約80センチの顕著な海面昇降が発生しています。海面の昇降やこれに伴って生じる強い流れにより、船舶や海上係留物への被害が生じるおそれがあります。

(本文)

薩摩地方の沿岸では、2月24日夜遅くから顕著な海面昇降が発生しています。

24日23時30分までに観測された海面昇降の山から谷の高さの最大値の発生時刻と高さ及び周期は以下のとおりです。(速報値)

観測地点名	発生日時	山から谷の高さ	周期
枕崎	24日22時40分頃	約80センチ	約15分

この海面の昇降は副振動と呼ばれ、湾内や海峡などで時々発生します。高潮や津波とは原因が異なり、海面上の気圧の微小な振動によって引き起こされたものと考えられます。

今後も大きい海面の昇降や強い流れが繰り返し発生する可能性があり、船舶や海上係留物への被害がありますので注意してください。

なお、次の満潮・干潮時刻は、以下のとおりです。

地点名	満潮時刻	干潮時刻
枕崎	25日7時46分	25日1時29分

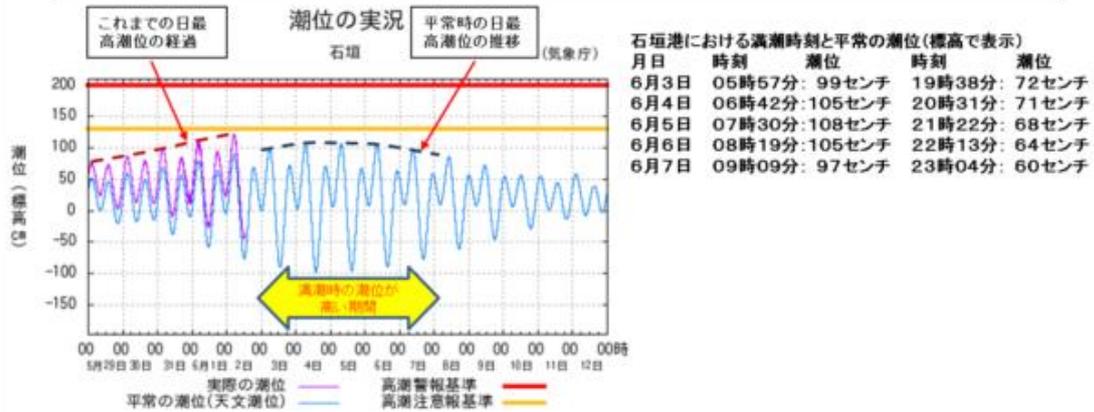
今後発表される潮位情報に留意してください。

別紙3 (図形式の潮位情報の例)

異常潮位に関する八重山地方潮位情報 第2号

平成××年6月2日15時30分 石垣島地方气象台発表

5月28日頃から八重山地方の沿岸で、平常に比べて30センチ程度高い潮位を観測しています。6月3日から6月7日までの満潮前後の時間帯や低気圧等の接近時には、海岸や河口付近の低地で浸水や冠水のおそれがあります。

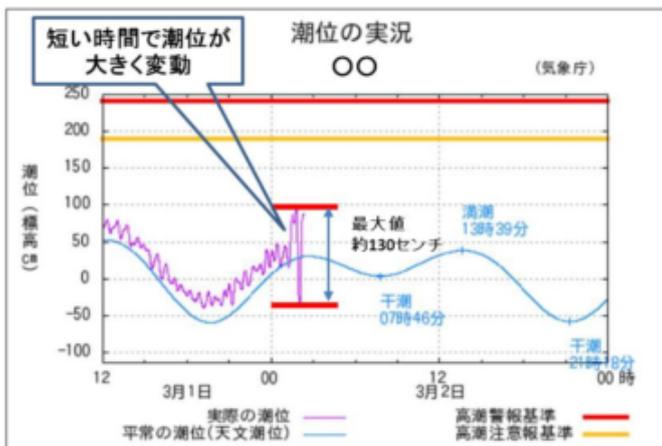


今後、气象台が発表する高潮警報・注意報に留意してください。

副振動に関する〇〇県潮位情報 第2号

平成××年3月2日03時25分 〇〇地方气象台発表

〇〇県の沿岸では、3月2日1時40分頃から顕著な海面昇降(副振動)が発生しています。低地の浸水や船舶・海上係留物への被害に注意してください。



2日03時まで〇〇港で観測された海面昇降の山から谷の高さの最大値と発生時刻及び周期は以下のとおり(値は速報値)

最大値 : 約130センチ
 発生日時 : 2日02時00分頃
 周期 : 約35分

今後も顕著な海面昇降や強い流れが繰り返し発生するおそれがあります。